

社会受容性の獲得(認知活動)

In silicoの社会受容性の獲得

○工業会の活動(2011年度から2012年度も継続)

- ・日本化学工業協会リスク評価技術ワーキンググループ
次期化審法改正(2014年頃)に向け、*in silico*データの利用を提言
経産省、厚労省、環境省との対話
*In silico*セミナーの開催
- ・日本化粧品工業連合会:*in silico*ワーキンググループ
化粧品業界における*in silico*の理解、普及、活用
化粧品の安全性評価における*in silico*手法の有用性を検討、発信

○学会の活動(2012年12月7-9日)

- ・日本動物実験代替法学会 第25回大会
シンポジウム「化粧品原料の安全性評価法の動向」において、「化粧品原料の*in silico*安全性評価に向けた粧工連の取り組み」について報告

○雑誌投稿

- ・フレグランスジャーナル誌2012年6月号
総説「動物実験代替法をめぐる最新動向」の中で、当社から「*in silico*法の活用」について投稿

社会受容性の獲得(認知活動)

学会発表実績

○2012年6月7-8日第37回日本化粧品学会

- ・動物実験に依存しない化粧品の安全性リスク評価に関するアプローチ

○2012年7月6日第70回SCCJ研究討論会

- ・*In vitro*手法による光毒性および光感作性評価法の開発

○2012年12月7日-9日日本動物実験代替法学会第25回大会

- ・化粧品原料評価のための単回投与毒性試験代替法の動向
- ・*In silico* 経皮吸収予測手法を用いた化粧品の安全性リスク評価
- ・酸化ストレスを指標とした光感作試験代替法の開発
- ・粧工連における代替法を用いた皮膚感作性評価への取り組み(第2報)
ーニューラルネットワーク手法を用いた評価体系の構築ー